

市長とミライとーく 報告書

令和6年3月14日

日 時	令和6年3月14日（木） 14:30～15:30		
会 場	関市役所7階 つなぐガーデン（関市若草通3丁目1番地）		
対 象 者	若者（高校生・大学生）	参加者	12人
テ ー マ	関市の「今」、関市の「未来」について		
担 当 課	協働推進部 市民協働課		

【参加者からの意見】※関市の「今」について

ポジティブな意見

- ・市民参加のイベントが多い
- ・市民が集まれる場所が多い
- ・刃物が有名だが、刃物以外についても知ってほしい
- ・伝統産業がたくさんある（刃物、鶺鴒など）
- ・子どもからお年寄りも楽しめるマーゴがある
- ・綺麗な川があるから、川の近くにみんなが集まれるスポットがあってもいいのではないか
- ・講演会や体験会などのイベントが多い

ネガティブな意見や提案

- ・イベントは多いが、中高生の参加率が少ない気がする
- ・バスが少なくて移動が不便
- ・観光や魅力をもっと発信した方がいい
- ・伝統産業の担い手（特に若い世代）がいるのか？
- ・もっと関市の魅力を市民に知ってもらいたい
- ・古民家あいせきがフリースペースとしてあるが、入りにくい雰囲気がある
- ・本町をもっと活性化してほしい
- ・小さい子が遊べる公園を増やしてほしい
- ・道にごみが落ちている
- ・近くに遊べる施設がほしい

【参加者からの提案】※関市の「未来」について

- ・若い人が来やすいお店が増えてほしい
- ・就職先も多く、就職したいと思える関市
- ・関市にいたい、関市に来たいと思われるようになってほしい

- ・ イベントや集まれる場所がこのままあり続けてほしい
- ・ 若者が学べる場所や長く時間を過ごせるような場所がほしい（滞在型図書館など）
- ・ 伝統を大切に、受け継いでいってほしい
- ・ 「関市＝刃物」と未来でも思ってもらえるように
- ・ 鵜飼などの良さを改めて再確認して、関市の魅力を感じてほしい
- ・ 市外へ一度出たとしても、戻ってきたいと思える居場所づくり
- ・ 関市を目的に来る観光客がもっと増えてほしい
- ・ 人の温かさが続いてほしい（挨拶など）

【担当者の考え】

今回の参加者は市内在住もしくは在学の高校生・大学生であり、属性の違いによる視点の違いが見られた。関市の現状において、高校生は移動手段が限られるため、公共交通の利便性や本町周辺の公共施設についての意見が多かった。大学生は客観的な視点から、観光客などの関係人口や就職先等についての意見が多かった。今回の参加者は、既存の若者活躍推進事業に既に関わったことがある学生ばかりだったため、地域に対する愛着や興味関心は比較的高かったようにも感じられた。

今回のテーマが関市の「今」と「未来」という抽象的なものであったため、多種多様な意見が参加者から挙がったが、キーワードとして地域に対する“愛着”や“魅力”という言葉が多かった。関市は進学や就職を機に市外へ転出する若者が多いため、市内在住・在学の若者に対して、関市について知る機会の提供や地域の愛着形成を図る事業を今後も続け、Uターンの確率を少しでも上げていくことが必要だと考える。また、若者から若者、若者から周りの大人というように、地域の愛着や魅力が拡大していくような仕掛けや働きかけも必要だと考える。

【今後の対応】

既存の若者事業により多くの若者に参加してもらえるよう働きかけると共に、関市の地域や伝統、魅力について深く知れるようなコンテンツを提供する。また、SNS等による情報発信において、より効果的なアプローチの仕方を検討していく。

【当日の様子】

